

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 407

事務事業名	観光客誘致助成事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	観光振興課		
課長名	杉野 幸夫	内線	471
担当者名	榎田 百合子	内線	242

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040401	歴史や自然を活かした観光のまちづくり
施策		観光交流のまちづくり
関連施策		

会計	一般会計	
款	7	商工費
項	1	商工費
目	4	まちづくり推進費
事業コード	020400	観光客誘致事業

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画	観光交流都市づくり計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	観光客、大村市観光コンベンション協会		
意図 対象をどのような状態にしたいか	観光イベント等の開催により、観光客誘致と大村市のPRを図り、経済活性化を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	大村市観光コンベンション協会が実施する、「花まつり」「花火大会」「大村フラワー大使選彰事業」などの観光客誘致事業に対して補助する。		
事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 28 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① PR回数	計画値	20	20	20	20		
		実績値	20	20	22			
	達成度	%	95.0%	100.0%	110.0%			
	福岡県内の旅行代理店、テレビ局、新聞社訪問(記事投込みやマスコミ側からの取材は除く)及びテレビ・ラジオ出演							
② イベント回数	計画値	回	4	4	4	4		
	実績値	回	4	4	4			
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%			
	花まつり(桜・花菖蒲)、花火大会、フラワー大使選彰							
成果指標	① イベント開催による観光客数	計画値	人	546,000	546,000	546,000	546,000	
		実績値	人	532,000	510,000	576,200		
	達成度	%	103.1%	97.4%	105.5%			
	花まつり期間 + 花火大会							
	② イベント開催による観光消費額	計画値	円	1,469,288	1,469,288	1,469,288	1,469,288	
		実績値	円	1,431,612	1,529,000	1,601,836		
達成度	%	103.1%	97.4%	109.0%				
日帰り消費単価(交通費、飲食娯楽費、土産代=2,780円)×日帰り客数(成果指標①)								

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	3,740	4,240	2,850	2,850	2,850	2,850	2,850	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	1,000							
一般財源	2,740	4,240	2,850	2,850	2,850	2,850	2,850	
② 人件費(千円)	5,596	5,238	4,479	5,849	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.67	0.67	0.62	0.77	観光CV協会が実施する、観光客誘致事業に対し補助する。	観光CV協会が実施する、観光客誘致事業に対し補助する。	観光CV協会が実施する、観光客誘致事業に対し補助する。	
時間外勤務(時間)	136	87.6	53	125				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	9,336	9,478	7,329	8,699				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	花まつり期間中、福祉車両利用者の利便性をより高めるために、福祉車両乗降場を第3駐車場(旧テニスコート跡地)に移して(H27までは南掘駐車場)駐車台数を増やし、仮設多目的トイレを設置した。歩行者がより安心して花を觀賞できる様、桜開花時期と花菖蒲開花時期の土日(それぞれ3日間(計6日間)、市道大村公園線を歩行者天国にした。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	福祉車両乗降場の場所について、市外の福祉施設への周知が十分でなかったため、特に花菖蒲開花期間に市道大村公園線に路上駐車して乗降をする福祉車両がみられ、交通の妨げになる事態が発生した。来年度以降、市外への周知、現場の看板設置等を検討する必要がある。また、花菖蒲開花時期の歩行者天国については、福祉施設の観賞者が平日に集中したこと、花菖蒲が路上から見えにくいことにより歩行者数が少なかった。花菖蒲時期の歩行者天国の実施を検討し直す必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	観光客を誘致し、本市の経済活性化を図るため必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	観光客の増加は、本市の経済活性化に繋がるため、市が関与すべきである。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村フラワー大使による各地でのPR活動や各種イベント開催による誘客効果は高い。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	観光客の増加を図ることにより、経済効果が期待できる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	事業を実施する大村市観光コンベンション協会の自主財源の増額が困難なため、補助金としての負担割合見直しの余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	事業を実施する大村市観光コンベンション協会の自主財源の増額が困難なため、補助金としての負担割合見直しの余地はない。						

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	今後も花まつり期間中の大村公園への安定した誘客を図るため、日中や夜間を含む交通整理について観光コンベンション協会や警備会社と協議を行い、周辺道路の渋滞緩和に取り組む。桜・菖蒲開花時期の歩行者天国や、福祉車両乗降場の設置についても、関係団体と協議を行い、実施日の検討や周知方法などの改善を図る。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	桜・花菖蒲観賞者の安全確保。福祉車両利用者の利便性向上。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。